



平成18年11月17日

各 位

共同コンピューター・タホ・ルディングス株式会社

代表取締役社長

吉村 昭一

(JASDAQ コード番号 9685)

問い合わせ先

専務取締役

相原 能文

TEL 0776-34-3512

平成19年3月期中間(単独)業績予想との差異及び通期(単独)
業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想について、平成18年5月26日付当社「平成18年3月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成19年3月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	60	0	0
今回修正 (B)	60	1	4
増減額 (B - A)	-	1	4
増減率	- %	- %	- %

(2) 修正理由

当社は、純粋持株会社であり、売上高は全て連結子会社への売上であり、当初予想通りの見込みであります。

経常損益及び当期純損失につきましては、当初予想を下回る見込みであります。即ち、売上高60百万円、経常損失1百万円及び当期中間純損失4百万円となる見込みであります。

(3) 通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	120	0	0
今回修正 (B)	120	2	6
増減額 (B - A)	-	2	6
増減率	- %	- %	- %

(4) 修正理由

通期におきましては、上期における修正を考慮し、下期全体の見直しを行いました
が、前回予想と大幅な修正はございません。

即ち、売上高120百万円、経常損失2百万円及び当期純損失6百万円を見込んで
であります。

(5) ご参考：前期の実績(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	57	4	216
通期	119	3	316

(注) 前期の当期(中間)純利益には、繰延税金資産の増加()による影響額が
含まれております。当該影響額はそれぞれ次の通りであります。

中間期	136
通期	188

従来より税効果会計を適用しておりますが、繰延税金資産については過去の
業績及び将来の予測等を勘案して回収可能性を厳格に判断し、会計上
の保守的な観点より全額評価性の引当金を計上して、繰延税金資産を計上
しておりませんでした。

しかし、ここ1～2年業績もほぼ計画通りに達成し徐々に業績も安定してきた
こと、また、将来の業績予測も実現可能性が高まったことなどにより当連結
会計期間より、回収可能性の高い一部の将来減算一時差異について、評
価性引当金の取崩しを行い、繰延税金資産を計上致しました。

2. 平成19年3月期 連結業績予想の修正等について

この中間期は、当初の予想をほぼ達成し、通期におきましても計画どおり進んでおり
予想の修正はございません。

なお、単独における業績修正は連結業績予想への大幅な影響はございません。

以 上